

2020 年度事業報告および決算書

(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日)

■会 員 (2021 年 3 月 31 日現在)

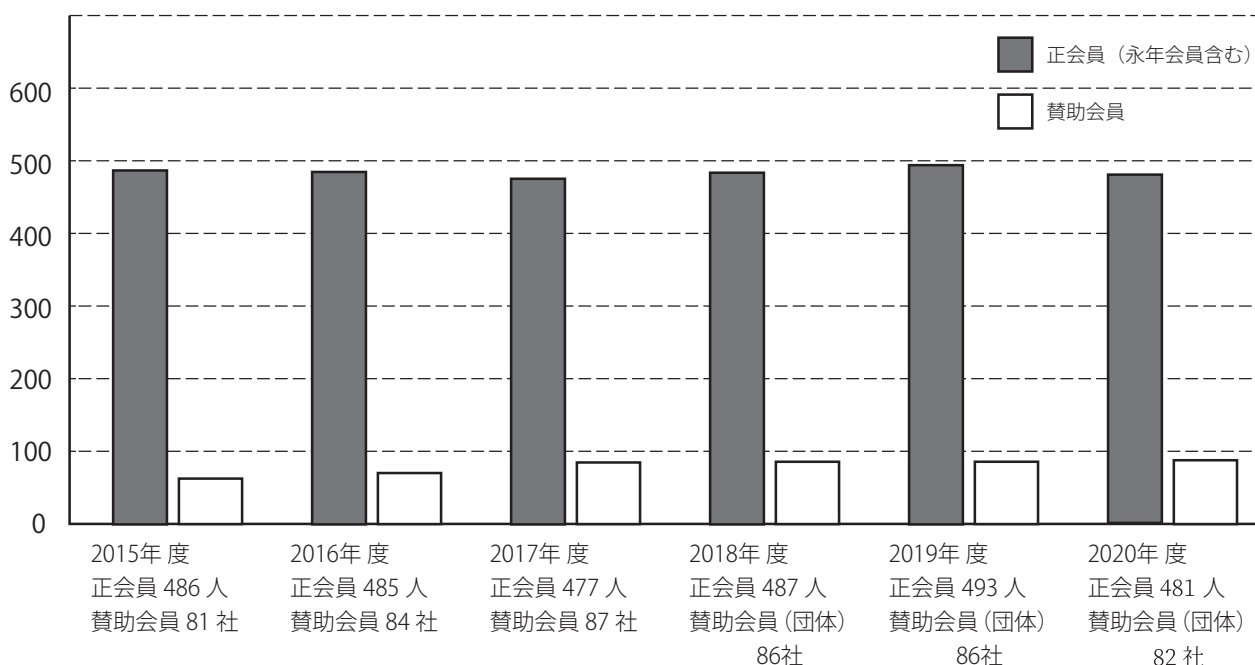
正会員 481 名 (フリーランス 379 名、インハウス 40 名、団体・学校 62 名)

[内 永年会員 108 名、入会 13 名、退会 19 名、死亡 3 名]

賛助会員 (団体) 82 社 180 口 (入会 3 社、退会 7 社)、賛助会員 (個人) 10 名

準会員 2 名 (退会 3 名)、学生会員 18 名

会員数の推移



■会 議

1. 総 会

1) 定時総会

2020年6月20日(土)午後3時30分～4時20分、AXISギャラリーにおいて第52回定時総会を開き、下記議案を議決した。

第1号議案 2019年度事業報告及び決算書(案)の件

2) 臨時総会

2020年11月20日(金)午後4時00分～5時30分、AXISギャラリーにおいて臨時総会を開き、下記議案を議決した。

- 第1号議案 協会名変更（案）の件
- 第2号議案 協会名変更に伴う定款改定（案）の件
- 第3号議案 定款改定に伴う会員規定改定（案）の件

2. ブロック総会

2020年度、下記の会場において開かれた。

- 東日本ブロック：2020年6月20日 会場 AXIS ギャラリー
- 中部ブロック：2020年6月13日 オンライン開催
- 北陸ブロック：2020年6月27日 オンライン開催
- 関西ブロック：2020年6月13日 オンライン開催
- 西日本ブロック：2020年6月10日 オンライン開催

3. 理事会

以下の件について議決、検討、審議、報告を行なった。

第1回理事会（5/25 オンライン）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、2019年度事業報告及び決算案の承認、総会開催日と場所、議案変更の承認、委員会・ブロック活動報告、事務局諸報告

第2回理事会（6/20 オンライン）

DMS Vol.22 選定委員及び特別選定委員の承認、職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、定時総会への対応を検討、定款と会員規定の検討、委員会・ブロック活動報告、事務局諸報告

第3回理事会（8/29 オンライン）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、臨時総会開催の承認、修正予算の承認、会員規定改定の検討、内閣府・事業概要の変更届の検討、デザインミュージアム規定の承認検討、DMS 選定審査会運営規則改定案の検討、委員会・ブロック活動報告、事務局諸報告

第4回理事会（10/10 オンライン）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、臨時総会議案の承認、選挙管理委員選任の承認、デザインミュージアム規定の検討、新協会に向けたブランド戦略と実施の検討、委員会・ブロック活動報告、事務局諸報告

第5回理事会（12/12 オンライン）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、渉外委員会受託事業の承認、新協会体制の今後の検討、理事会運営規則改定案の検討、コロナウィルス対策・事業の検討、賛助会員企業とのヒヤリングの検討、臨時総会結果報告の検討、アクションプランの検討、収支報告・決算予測の報告、委員会・ブロック活動報告、事務局諸報告

第6回理事会（2021年2/6 オンライン）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、特別会員新設の承認、理事会運営規則改定の承認、内閣府事業内容の変更届の承認、大阪デザインセンターとの事務委託

契約解除の承認、スタンダード委員会受託事業の承認、ブロック受託事業承認、新 VI・デザイン料の承認、来年度予算案検討の検討、来年度委員会変更の検討、理事長経験者への称号付与の検討、WIDC/GDIO パートナシップの検討、名称変更イベントの検討、来年度理事会日程の検討、委員会・ブロック活動報告、事務局諸報告

第7回理事会（2021年3/13 オンライン）

2021年度事業計画及び予算案、資金調達、設備投資の見込みの承認、総会開催日時と永年会員の承認、総会・理事会運営規則改定案の承認、協会印規定改定案の承認、来年度委員会構成変更の検討、理事長経験者の称号付与の検討、協会テキスト・プラン関連事案の検討、メンバーカードとバッジの制作の検討、委員会活動報告、事務局諸報告

理事会出欠状況

●出席回数（ ）内は出席回数

理事：田中一雄（7） 御園秀一（7） 稲垣揚平（6） 黄ロビン（6） 佐藤敏明（7）
芝 操枝（7） 谷村 秀（7） 平川真紀（7） 藤本英子（7） 松本 有（7）
松本博子（6）

監事：浅香 嵩（7） 長谷高史（7）

●欠席回数（ ）内は欠席回数

理事：田中一雄（0） 御園秀一（0） 稲垣揚平（1） 黄ロビン（1） 佐藤敏明（0）
芝 操枝（0） 谷村 秀（0） 平川真紀（0） 藤本英子（0） 松本 有（0）
松本博子（1）

監事：浅香 嵩（0） 長谷高史（0）

4. ブロック長会議

第1回ブロック長会議（2020年4月16日16時～17時、東京 JIDA 事務局及びWEB会議）

第2回ブロック長会議（2020年5月18日17時～19時東京 JIDA 事務局及びWEB会議）

第3回ブロック長会議（2020年10月8日19時～20時30分、WEB会議）

■事業報告

1. 2020 年度活動概要

理事長 田中一雄

公益社団法人 日本インダストリアルデザイン協会（JIDA）は日本唯一の全国的なインダストリアルデザイナー団体として 70 年近い活動を続けてまいりました。インダストリアルデザインは、産業社会のモノづくりをとおして、広く国民生活の質の向上に資するものです。JIDA では、その活動として以下の 6 つの事業を対象としています。まず、「資格付与事業」はデザイナーの社会的信頼性を担保し、適切に機能する職能を保証します。「セミナー事業」はデザイナーに継続的な学習を促し、常に時代に即応した役割を果たすことを目指します。「体験活動事業」は、インダストリアルデザインに対する社会の理解を深め、社会教育を実践します。「ミュージアム事業」は、インダストリアルデザインを歴史的に記録するとともに、優れた製品の顕彰を通じて明日への展望を示します。「調査・研究事業」は、社会に貢献する専門性と客観性を深めることを進めています。「交流事業」は、広く国内外の組織と連携することによって、国際社会に貢献しています。

2020 年度は、コロナ禍に明け暮れた一年でしたが、未だ収束が見えずにいます。そんな中ではありましたが、「協会名称変更」という大きな変革を行いました。これは単なる名称の変化ではなく、デザインの拡大に呼応した組織の充実であり、益々その社会的責任が問われるということでもあります。また、この機に協会ロゴを見直すなど広報的充実も進めることが出来ました。2021 年度より、JIDA は新理事長体制となりますが、2020 年度は未来へのバトンを渡す体制改革を推進した年であったと思います。

（1）資格付与事業 《国民から信頼される職能の確立》

資格付与事業はプロダクトデザインの普及を目指し、次世代を担うデザイン学生、一般社会人、プロのデザイナーに向けた PD 検定事業を実施している。PD 検定の運営体制の移管構築とプロダクトデザイン改訂版の編集出版に注力できたことで次年度への整備が進んだ。

1）PD 検定事業

2020 年度の受験者数は 197 名で前年比 89%、合格者数 127 名（合格率は同 64%）、2 級検定対応の問題集は 164 冊（同 116%）を頒布した。検定業務の体制移管に合わせて、PD 検定のホームページを再整備した。

2）関連出版事業

PD 検定 2 級向けの「プロダクトデザインの基礎」（緑本）は出版して 5 年半、昨年度より販売数は減少したが教材本として定着してきており、2 年分 2500 冊の増刷を行なった。「プロダクトデザイン」（赤本）は出版して 11 年（9 刷：2 万冊）、IT 化や技術の発展、デザイン業務の拡がりに対応すべく執筆編集を進めてきた「改訂版」を 3 月に出版した。

3）事業基盤の整備

事業当初から検定事務局と検定試験を外部委託してきたが、PD 検定事務局は JIDA 事務局に移管、検定試験は CBT-Solutions 社へ移管して直接の委託契約とした。また経済産業省の「後援名義使用」の申請は、11 月に「承諾」が得られ、今後の広報活動に効果が期待できる。

(2) セミナー事業 《専門的知見の充実による社会貢献の推進》

各委員会やブロックにおいて様々なセミナーを開催し、インダストリアルデザインの普及啓発を推進する計画だったが、コロナウィルスの影響によって中止やリモート方式への手法変更を余儀なくされ、全体としては活動が縮小された。主な実施セミナーは以下の通り。

- 1) 美的集団向けデザインセミナー（継続事業・第2期4回シリーズの残り2回分）
- 2) 東大阪市デザインシンキングセミナー（継続事業・第2期）
- 3) 伊・トリノ IAAD 最新デザインおよび教育動向・夏季研修プロジェクト報告セミナー
- 4) 第33期報告会 JIDA インハウス女性デザイナー研究会報告セミナー
- 5) 第94回勉強会 最新3Dプリンタで生み出すCMFモデル造形と製品活用
- 6) 第95回勉強会 これからの紙使い・和紙使い
- 7) JIDA 塾「上質な暮らし、豊かな時間」生活をクリエイティブに彩る暮らし方セミナー
- 8) デザイナー井戸端会議 これからのデザイナーの在り方について、討論形式のセミナー
- 9) TASK2020 都内4区による中小企業支援事業で、デザイン活用セミナーを実施

(3) 体験活動事業 《次世代人材の育成による国家基盤の充実》

1) 電車ワークショップ

3歳から小学生を対象にした電車をつくるワークショップ。9月6日に東京ミッドタウン・デザインハブにてリアル開催、26名の親子が参加した。

2) 国際デザインワークショップ (ISDW)

国際的視野を広げるために毎年、韓国インダストリアルデザイン協会 (KAID)、台湾工業デザイン協会 (CIDA) と共同で国際学生デザインワークショップを開催している。また、インダストリアルデザインの現場を見学するなどの学生交流会も行っているが、2020年度はCovid 19の影響で、全て中止となった。

(4) ミュージアム事業 《デザインを通じた日本文化の高度化》

1) デザインミュージアムセレクション Vol.22

2020年度で22年目となるセレクション事業は、コロナ禍にもかかわらず例年通り実施された。リモートを中心とした数回の選定会により、ゴールドセレクション5点、特別選定2点を含む合計56点が選定された。そのすべての内容を148ページに及ぶ図録に編集収録し、2,300部の印刷、国内外の関係機関、図書館、大学、会員などに無償配布した。

2) デザインミュージアム

長野市信州新町に設営している JIDA デザインミュージアム 1号館「ミュゼ・蔵」では、協会が所蔵している優れたデザインの製品群から30～60点程度を常設展示する活動を継続している。2020年度もセレクション Vol.21 選定製品の巡回展を企画していたが、コロナの影響で4月から閉館となったまま現在に至っている。六本木の JIDA デザインミュージアム in AXIS と大阪の JIDA デザインミュージアム イン 関西は通年を通して展示を実施した。

3) パッケージデザインパビリオン

隔年で開催される東京パック 2021 内にて、パッケージデザインパビリオンを今年度も JIDA が規格運営を行なった。2021年2月24日(水)～26日(金)、東京ビッグサイト西館。

4) ギフトショー

コロナの影響で秋のショーは中止となり、2月に春のショーが実施された。2021年2月3日(水)、4日(木)、5日(金)、東京ビッグサイト南展示棟南3にて2コマでJIDAブースを出展。

(5) 調査・研究事業 《専門性の深化及び客観化》

1) JIDA STANDARD SAMPLES の頒布

2020年度の頒布実績は全41冊。内訳は「1」:14冊、「2」:4冊、「3」:8冊、「4A」:5冊、「4B」:6冊、「5」:4冊。他に「4A」「4B」から1点ずつ各50枚の別注制作も行なった。その他サンプルは全14冊を頒布。内訳は「アルゴ」:10冊、「パントン」:1冊、「RAL」:3冊。

2) KIDS DESIGN TOOLS の頒布

2020年度の頒布実績は全16セット。内訳は、子どものからだパスデータ集:6冊、2.5Dキッズパーツ:2セット、2Dキッズモデル:3セット、3Dキッズモデル:5セット。これとは別に子どものからだ図鑑:3冊となった。

3) 産総研、消防庁との共同研究会

「傷害予防のためのデータ活用に関する検討委員会」として、最近の事故の事例や分析の報告をもとに事故予防に関する共同研究会を、例年通り6回行なった。

4) ベランダ等高所からの子どもの転落を予防するプロジェクト

三菱財団社会福祉事業・研究助成のプロジェクト(主宰:NPO法人セイフキッズジャパン山中龍宏理事長)に参加し、月1回ペースの合同ミーティングに3名で参加した。

5) 高齢者ハンドブックの制作

昨年度、産総研から受託した同制作事業に追加・修正が発生し、2020年度に新しいデータを追加した新ページと修正ページの編集を行なった。

6) 日本弁理士会意匠部会との共同研究によりロイヤルティー契約書式を完成させた。

7) クラウドを応用した契約書作成・締結・管理システムの研究を行なった。

(6) 交流事業 《社会貢献及びデザイン価値の拡充発展》

1) Asia Design Assembly (ADA) 韓国:KAID、台湾:CIDA との国際交流事業

3か国代表者会議をオンラインにて3回行なった。ADAが主催する国際学生デザインワークショップ(ISDW)は2020年8月に日本で開催する予定だったが、2021年8月に延期となった。

2) CHINAPLAS 協力事業

中国深圳で開催されるプラスチック関連の展示会イベントへ、出展者募集と講演者派遣の協力をおこなっていたが、次年度4月へ延期となった。

3) 日本デザイン団体協議会(D8)との交流

- 代表者会議への参加:正副理事長と事務局長が数回の会議に参加した。2020年度は特に連携強化を推進するため、理事長会議を複数回行なった。
- 日本デザインミュージアム設立準備委員会への参加:JIDAからはデザインミュージアム

委員会のメンバー数名が参加し、活発な活動が行なわれた。

●デザイン保護研究会への参加：JIDA からは職能委員会のメンバーが参画している。

●広報委員会への参加：JIDA からは広報担当理事が参加し、D8 からの発信強化のための数回の会議に出席した。

4) 東京パック 2021

隔年で開催される日本包装技術協会主催の東京パック 2021 に今回も協力し、JIDA がデザインコーナーであるパッケージデザインパビリオンの企画運営を行なった。例年同様、同パビリオン内に日本弁理士会ブースを設け、知財相談の窓口とした。

(7) 共益事業 《会員扶助及び会員支援》

1) DP ホットライン

主にフリーランスデザイナーを対象にした会員向け知財相談窓口「DP ホットライン」を通年開設し、会員からの知財相談に対応している。2020 年度も意匠登録の申請に関する相談や、知財に関するトラブル等が寄せられ、専門家が気軽に対応した。

2) 会報誌

毎年一度、外部向け年間活動報告書として「アニュアルレポート」を編集・印刷し、広く一般に発信している。2020 年度も 2019 年度のレポートを 8 月に 800 部印刷、内外の関係各所や全ての会員に配布した。

3) その他

オンライン会議は勿論、オンラインイベントも当たり前になりつつある中、基材やソフトも含めた ICT の強化が必須となり、費用も人材もその方面に多く費やされた。総会の開催方法もハイブリッドと称し、会場出席者とリモート参加者、さらには動画視聴者がリアルタイムで共有できるシステムを活用した。事務局もテレワークを推進し、50%以上の在宅率を実現した。

I 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
[資産の部]			
【流動資産】			
現金預金	12,152,866	11,860,666	292,200
未収会費	930,000	1,219,000	△ 289,000
未収金	3,077,502	1,563,870	1,513,632
前払金	1,931,946	1,548,090	383,856
商品	2,039,289	1,843,718	195,571
原材料	4,457,784	4,699,668	△ 241,884
貯蔵品	724,231	769,763	△ 45,532
流動資産合計	25,313,618	23,504,775	1,808,843
【固定資産】			
(基本財産)			
JIDA一般・その他基本財産	8,501,898	8,501,046	852
基本財産合計	8,501,898	8,501,046	852
(特定資産)			
周年事業積立資産	4,000,000	3,633,222	366,778
退職金積立預金	1,030,720	696,720	334,000
特定資産合計	5,030,720	4,329,942	700,778
(その他固定資産)			
設備造作	351,966	412,360	△ 60,394
什器備品	22	22	0
ミュージアム収蔵品	350,601	350,601	0
電話加入権	100,500	100,500	0
敷金	42,480	42,480	0
保証金	6,489,000	6,489,000	0
その他固定資産合計	7,334,569	7,394,963	△ 60,394
固定資産合計	20,867,187	20,225,951	641,236
資産合計	46,180,805	43,730,726	2,450,079
[負債の部]			
【流動負債】			
未払金	9,311,617	6,632,888	2,678,729
前受金	3,414,000	1,604,900	1,809,100
前受会費	2,086,000	1,660,000	426,000
預り金	70,404	291,826	△ 221,422
未払消費税	390,900	559,600	△ 168,700
流動負債合計	15,272,921	10,749,214	4,523,707
【固定負債】			
退職給付引当金	1,030,720	696,720	334,000
固定負債合計	1,030,720	696,720	334,000
負債合計	16,303,641	11,445,934	4,857,707
[正味財産の部]			
【一般正味財産】			
一般正味財産	29,877,164	32,284,792	△ 2,407,628
(うち基本財産への充当額)	(8,501,898)	(8,501,046)	(852)
(うち特定資産への充当額)	(4,000,000)	(3,633,222)	(366,778)
正味財産合計	29,877,164	32,284,792	△ 2,407,628
負債及び正味財産合計	46,180,805	43,730,726	2,450,079

Ⅱ 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	399,000	750,000	△ 351,000
受取入会金	399,000	750,000	△ 351,000
受取会費	25,035,000	24,988,000	47,000
正会員受取会費	15,147,000	15,318,000	△ 171,000
準会員受取会費	90,000	90,000	0
個人賛助会員受取会費	198,000	180,000	18,000
賛助会員受取会費	9,600,000	9,400,000	200,000
事業収益	15,852,819	27,310,961	△ 11,458,142
書籍頒布	2,313,935	5,764,048	△ 3,450,113
検定登録収入・問題使用	1,365,100	1,324,820	40,280
展示・セミナー会費収入	5,011,600	8,445,200	△ 3,433,600
受託事業による収入	4,883,580	10,232,062	△ 5,348,482
その他の活動収入	1,915,604	1,544,831	370,773
委員会収入	363,000	1,544,831	△ 1,181,831
受取補助金・寄付金等	4,780,000	5,295,010	△ 515,010
受取民間助成金	4,300,000	4,300,000	0
寄付金	480,000	995,010	△ 515,010
雑収益	1,336	142,511	△ 141,175
受取利息	1,336	1,297	39
その他収益	0	141,214	△ 141,214
経常収益計	46,068,155	58,486,482	△ 12,418,327
(2) 経常費用			
事業費	43,805,002	52,155,070	△ 8,350,068
期首棚卸高	7,313,149	5,063,560	2,249,589
期末棚卸高	△ 7,221,304	△ 7,313,149	91,845
給料手当	9,989,679	9,292,713	696,966
雑給	1,972,194	2,074,413	△ 102,219
退職給付費用	283,900	266,560	17,340
法定福利費	1,658,247	1,328,549	329,698
旅費交通費	967,559	4,784,906	△ 3,817,347
通信運搬費	880,231	1,262,316	△ 382,085
会議費	110,729	1,394,277	△ 1,283,548
印刷製本費	1,689,329	2,165,445	△ 476,116
出展料・参加費	2,173,600	2,046,375	127,225
材料費	2,535,438	6,839,792	△ 4,304,354
諸謝金	5,295,172	7,287,907	△ 1,992,735
委託費	5,840,071	3,948,228	1,891,843
什器・備品購入費	21,739	824,130	△ 802,391
事務用品費	320,887	404,766	△ 83,879
水道光熱費	1,925,911	2,028,668	△ 102,757
賃借料	6,024,940	5,929,631	95,309
団体諸会費	648,000	777,300	△ 129,300
租税公課	424,937	575,360	△ 150,423
懇親会費	0	257,349	△ 257,349
委員会費	363,000	0	363,000
雑費	587,594	915,974	△ 328,380
管理費	4,415,781	4,947,582	△ 531,801
給料手当	1,762,884	1,639,890	122,994
雑給	314,972	231,858	83,114
退職給付費用	50,100	47,040	3,060
法定福利費	292,632	234,450	58,182
旅費交通費	119,586	591,393	△ 471,807
通信運搬費	86,110	123,487	△ 37,377
設備造作減価償却費	60,394	89,821	△ 29,427
什器減価償却費	0	2	△ 2
印刷製本費	70,388	90,227	△ 19,839
諸謝金	0	54,000	△ 54,000
委託費	119,185	80,576	38,609
什器・備品購入費	4,141	156,976	△ 152,835
事務用品費	52,237	65,892	△ 13,655
水道光熱費	313,520	330,248	△ 16,728
賃借料	1,063,225	1,046,405	16,820
租税公課	2,714	3,675	△ 961
雑費	103,693	161,642	△ 57,949
経常費用計	48,220,783	57,102,652	△ 8,881,869
当期経常増減額	△ 2,152,628	1,383,830	△ 3,536,458
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
収蔵品受贈益	0	21	△ 21
経常外収益計	0	21	△ 21
(2) 経常外費用			
未収会費取立不能分	255,000	243,000	12,000
経常外費用計	255,000	243,000	12,000
当期経常外増減額	△ 255,000	△ 242,979	△ 12,021
当期一般正味財産増減額	△ 2,407,628	1,140,851	△ 3,548,479
一般正味財産期首残高	32,284,792	31,143,941	1,140,851
一般正味財産期末残高	29,877,164	32,284,792	△ 2,407,628
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	29,877,164	32,284,792	△ 2,407,628

Ⅲ 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	199,500	135,660	63,840	399,000
受取入会金	199,500	135,660	63,840	399,000
受取会費	12,517,500	7,568,100	4,949,400	25,035,000
正会員受取会費	7,573,500	4,544,100	3,029,400	15,147,000
準会員受取会費	45,000	45,000	0	90,000
個人賛助会員受取会費	99,000	99,000	0	198,000
賛助会員受取会費	4,800,000	2,880,000	1,920,000	9,600,000
事業収益	15,852,819	0	0	15,852,819
書籍頒布	2,313,935	0	0	2,313,935
検定登録収入・問題使用料	1,365,100	0	0	1,365,100
展示・セミナー会費収入	5,011,600	0	0	5,011,600
受託事業による収入	4,883,580	0	0	4,883,580
その他の活動収入	1,915,604	0	0	1,915,604
委員会収入	363,000	0	0	363,000
受取補助金・寄付金等	4,780,000	0	0	4,780,000
受取民間助成金	4,300,000	0	0	4,300,000
寄付金	480,000	0	0	480,000
雑収益	0	0	1,336	1,336
受取利息	0	0	1,336	1,336
その他収益	0	0	0	0
経常収益計	33,349,819	7,703,760	5,014,576	46,068,155
(2) 経常費用				
事業費	40,296,689	3,508,313		43,805,002
期首棚卸高	7,313,149	0		7,313,149
期末棚卸高	△ 7,221,304	0		△ 7,221,304
給料手当	8,931,948	1,057,731		9,989,679
雑給	1,972,194	0		1,972,194
退職給付費用	253,840	30,060		283,900
法定福利費	1,482,668	175,579		1,658,247
旅費交通費	869,716	97,843		967,559
通信運搬費	746,283	133,948		880,231
会議費	58,686	52,043		110,729
印刷製本費	1,407,774	281,555		1,689,329
出展料・参加費	2,173,600	0		2,173,600
材料費	2,535,438	0		2,535,438
諸謝金	5,295,172	0		5,295,172
委託費	5,184,553	655,518		5,840,071
什器・備品購入費	21,739	0		21,739
事務用品費	264,918	55,969		320,887
水道光熱費	1,746,756	179,155		1,925,911
賃借料	5,457,887	567,053		6,024,940
団体諸会費	492,480	155,520		648,000
租税公課	420,814	4,123		424,937
委員会費	363,000	0		363,000
雑費	525,378	62,216		587,594
管理費			4,415,781	4,415,781
給料手当			1,762,884	1,762,884
雑給			314,972	314,972
退職給付費用			50,100	50,100
法定福利費			292,632	292,632
旅費交通費			119,586	119,586
通信運搬費			86,110	86,110
設備造作減価償却費			60,394	60,394
印刷製本費			70,388	70,388
委託費			119,185	119,185
什器・備品購入費			4,141	4,141
事務用品費			52,237	52,237
水道光熱費			313,520	313,520
賃借料			1,063,225	1,063,225
租税公課			2,714	2,714
雑費			103,693	103,693
経常費用計	40,296,689	3,508,313	4,415,781	48,220,783
当期経常増減額	△ 6,946,870	4,195,447	598,795	△ 2,152,628
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
收藏品受贈益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
未収会費取立不能分	0	0	255,000	255,000
経常外費用計	0	0	255,000	255,000
当期経常外増減額	0	0	△ 255,000	△ 255,000
他会計振替前当期一般正味財産増減	△ 6,946,870	4,195,447	343,795	△ 2,407,628
他会計振替額	1,920,896	△ 1,920,896	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,025,974	2,274,551	343,795	△ 2,407,628
一般正味財産期首残高	△ 4,812,565	12,597,858	24,499,499	32,284,792
一般正味財産期末残高	△ 9,838,539	14,872,409	24,843,294	29,877,164
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 9,838,539	14,872,409	24,843,294	29,877,164

IV 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

市場価額のあるものは、時価法を採用している。

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

その他のものは原価法を採用している。

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

材料及び貯蔵品は最終仕入原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法

設備造作については、旧定額法及び定額法を採用している。

什器備品については、旧定額法及び定額法を採用している。

(4)引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
JIDA基金積立預金	8,501,046	852	0	8,501,898
小 計	8,501,046	852	0	8,501,898
特定資産				
周年事業積立資産	3,633,222	400,363	33,585	4,000,000
退職金積立預金	696,720	334,000	0	1,030,720
小 計	4,329,942	734,363	33,585	5,030,720
合 計	12,830,988	735,215	33,585	13,532,618

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
JIDA基金積立預金	8,501,898	(0)	(8,501,898)	(-)
小 計	8,501,898	(0)	(8,501,898)	(0)
特定資産				
周年事業積立資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(-)
退職金積立預金	1,030,720	(0)	(-)	(1,030,720)

小 計	5,030,720	(0)	(4,000,000)	(1,030,720)
合 計	13,532,618	(0)	(12,501,898)	(1,030,720)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	1,846,455	1,494,489	351,966
什器備品	8,548,959	8,548,937	22
合 計	10,395,414	10,043,426	351,988

6. 関連当事者との取引の内容

開示すべき取引は該当なし。

7. 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	696,720	334,000	0	0	1,030,720
合 計	696,720	334,000	0	0	1,030,720

8. その他

(資産除去債務に関する注記)

当法人は事務所に係る不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復義務を有している。

しかし、当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、かつ、将来移転等の予定もないことから、

資産除去債務を合理的に見積もることができない。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

V 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

注記に同内容が記載のため省略。

2. 引当金の明細

注記に同内容が記載のため省略。

Ⅵ 財産目録

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
【流動資産】				
	現金	手許保管	運転資金	237,366
	預金	普通預金 みずほ銀行六本木支店他	運転資金	6,458,981
		郵便振替 六本木駅前支店	運転資金	5,456,389
		定期預金 みずほ銀行六本木支店	運転資金	130
	未収会費	令和2年度会費	公益目的事業及び法人の管理運営に係る会費の未収分	930,000
	未収金	令和2年度事業収入	公益目的事業に係る未収分	3,077,502
	前払金	令和3年度賃料交通費他	公益目的事業に係る前払金	1,931,946
	商品	サンプル帳1～5	公益目的事業の頒布品在庫	2,039,289
	原材料	サンプル帳仕掛品	公益目的事業の頒布品仕掛品在庫	4,457,784
	貯蔵品	書籍	公益目的事業の在庫	724,231
流動資産合計				25,313,618
【固定資産】				
(基本財産)				
	JIDA基金積立預金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の寄附を基本財産として管理	8,501,898
基本財産合計				8,501,898
(特定資産)				
	周年事業積立資産	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	4,000,000
	退職金積立預金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	1,030,720
特定資産合計				5,030,720
(その他固定資産)				
	設備造作	ギャラリ照明設備	公益目的事業及び管理運営に使用	351,966
	什器備品	パソコン、机等	公益目的事業及び管理運営に使用	22
	ミュージアム収蔵品	ミュージ蔵収蔵品	公益目的事業及び管理運営に使用	350,601
	電話加入権	5回線	公益目的事業及び管理運営に使用	100,500
	敷金	展示スペース	公益目的事業及び管理運営に使用	42,480
	保証金	事務局分	公益目的事業及び管理運営に使用	6,489,000
その他固定資産合計				7,334,569
固定資産合計				20,867,187
資産合計				46,180,805
【流動負債】				
	未払金	令和2年度事業費	公益目的事業及び管理運営に伴う未払い金	9,311,617
	前受金	令和3年度事業費	公益目的事業及び管理運営に係る前受金	3,414,000
	前受会費	令和3年度会費	公益目的事業及び管理運営に係る年会費収入	2,086,000
	預り金	源泉所得税他	公益目的事業及び管理運営に係る預かり金等	70,404
	未払消費税等	令和2年度消費税	公益目的事業及び管理運営に伴う消費税	390,900
流動負債合計				15,272,921
【固定負債】				
	退職給付引当金		退職金の支払いに備えている	1,030,720
固定負債合計				1,030,720
負債合計				16,303,641
正味財産				29,877,164

監査報告書

公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会

理事長 田中一雄 殿

2021年5月13日

公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会

監事

長谷高史 

私たちは、2020年4月1日から2021年3月31日までの第53会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書、事業報告の附属明細書は事実であると認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。